# 中間報告書(実行団体)

● 提 出 日 : 2022年 9月 30日

● 事 業 名 : 湯来町の課題を解決する、収益性の高い観光モデル構築事業

● 資金分配団体 : 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター

● 実 行 団 体 : 特定非営利活動法人湯来観光地域づくり公社

● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成(通常枠での追加助成)の有無 : 図有 □無

## ① 実績値

## 【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗
					状況
					*
【A-a:事業の成功】	①アドベンチャー	いずれも計画通	2023 年 1 月		1
本事業を実施する上	ツーリズムの整備	りに整備が出来	時点での計		
で必要なハード等を	状況を確認する。	ている状態。	測とする。		
整備できたか。	②サイクルツアー				
	の整備状況を確認				
	する。				
	③飲食店の整備状				
	況を確認する。				

【A-a:事業の成功】	①アドベンチャー	①300人	2023年1月	①アドベンチャー:シャワークライミングは 854 人	2
本事業で実施する 3		②100人	時点での計		
事業を何人が利用し	数を確認する。	③5,000 人	測とする。	②サイクルツアー:季節的なものもあり、現時点では	
たか。	②サイクルツアー			15人の参加であるが、秋冬の増加に期待したい。	
	参加人数を確認す			③飲食店:昨年度オープンしたが、新型コロナウイル	
	3. S.			スの影響もあり、店長が不在となり現在休業中であ	
	°。   ③飲食店来店人数			る。再オープンに向けた準備を進めている。	
	を確認する。				
【A-b:仲間の広が		15 同 (2022 年度)	2022 年 1 日	   地元企業との面会、勉強会、会議等を 13 回実施した。	2
り】地元企業等との		13 凹 (2022 平反)	2023 年 1 万   時点での計		
交流、勉強会、会議	数。		測とする。	4/11 たびまちゲート広島	
等をどれだけ実施し				4/11 JTB	
たか。				4/15 Hiroshima River Lab	
				4/20 広島観光コンベンションビューロー	
				4/20 ばくだん屋	
				5/17 JAL	
				6/17 FRASCO	
				6/17 YOUHOME	
				6/29 中国地域創造研究センター	
				7/19 マツダ	
				7/21 オタフクソース	
				8/5 大和重工	

【A-b:仲間の広が	雇用に向けて実施	 採用活動を実施	2023年1月	予定通り採用活動を実施し、雇用につながった。	1
り】人材雇用に向け	した採用活動の報	している状態。	時点での計	1 元型 7 別の日泊場 と入地 3 ( ) 雇用で 2 ( ) の 3 ( ) と	_
た採用活動を実施し			測とする。		
	告を確認する。		別 С 9 つ。		
たか。					
【A-c:認知の向上】	①事業期間中に発	①5 種類	2023 年 1 月	①5 種類	1
SNS等を用いて事業	行したチラシ等の	②50 回	時点での計	②Facebook: 27 回	
をどれだけ発信した	種類数を確認す		測とする。	Instagram:27 回	
か。	る。				
	②事業期間中に				
	SNS に投稿した回				
	数を確認する。				
【B:地域の共感】地	参加した会合の回	2 🗆	2023年1月	1 🗇	2
元町内会連合会との	数。		時点での計		
会合にどれだけ参加			測とする。		
したか。					
【C:コロナ対応】ア	①フォーラムの実	11 🗆	2020年10月	①2020 年 10 月 7 日に予定通りフォーラムを実施し	2
フターコロナの新た	施	②50人		た。	
な観光モデルビジョ	②参加した専門家			②フォーラムには専門家 3 人、同業他社(参加者)	
ンについての知見を	や同業他社の人数			42 人が参加した。	
専門家や同業他社と					
ディスカッションし					
たか。					

【C:コロナ対応】本	専門家等とのディ	6 回	2020年10月	専門家等とのディスカッションは予定通り 7 回を実	1
団体におけるアフタ	スカッションの回		~2021 年 3	施した(10月28日、31日、11月17日、12月4日、	
ーコロナの新たな観	数		月	12月23日、2月16日、3月23日)。	
光ビジョンや事業計				フォーラムやディスカッションを通じて新たな企画	
画の策定に向けて専				が生まれ、運輸局事業につながり、同業他社や行政等	
門家等とディスカッ				を巻き込んだツアーを造成中。	
ションしたか。					

\*進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

#### ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み

2.概ね達成の見込み

## 2.アウトカムの状況

A:変更項目

☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値

### 3. 活動に関する報告

アドベンチャーツーリズムの中でも、シャワークライミングについては、800名以上の参加者があり、手応えを感じている。また、湯来町が中心となった広域のツアー造成についても、多くのアクティビティ事業者やまちづくり NPO 団体と協働しながら作り上げ、広島で戦前から事業をされている世界的企業からも賛同いただき、世界に誇るツアーを完成させることができた。

また、こうした取組の認知が高まり、日本アドベンチャーツーリズム協議会やJTB等のシンポジウムで事例発表する機会をいただき、1000名を超える方々に湯来町の取組を発信することができた。

#### 6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

企画当初はコロナのない社会像で描いていたビジョンを、専門家の力や県内の同業者等とディスカッションを重ね、アフターコロナを見据 えた新ビジョンへ切り替えることができた

コロナ禍以前では大人数を対象(修学旅行生等)とした事業を中心とした設計になっていたが、コロナで大人数を対象とすることが困難となったうえ、もともと平日の稼働率に問題のある設計になっていた。コロナ対応のため少人数(家族や個人等)に主な対象を変えたところ、平日の稼働率について以前よりも良い結果になっている。

当初はインバウンドなど海外からの誘客を目指す計画となっていたが、遠方からの来客が困難となった。そのことを機会ととらえ広島市街地など近場を対象とした戦略に切り替え、改めて地元に湯来という資源があることを広めることができた。

#### ③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☑自団体のウェブサイトで表示している	□広報制作物に表示している
□報告書に表示している □イベント実施	時に表示している □その他
→「その他」を選択した場合は記載して	ください (自由記述):

# 2. 広報

1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

	, , , , , , , ,	( , .
4/1	ホームテレビ	5up!
4/8	中国新聞	
4/11	RCC ラジオ	おひる一な
4/22	広島テレビ	テレビ派
5/6	TSS	ライク
5/13	TSS	ライク
6/22	ホームテレビ	5up!
6/27	日経新聞	
8/27	NHK	
9/8	TSS	満点ママ

- 2.広報制作物等
- 3.報告書等
- 4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

# 添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度)